

SNSの現状と支援、被害者・加害者にならないために ～やさしいところで一隅を照らす～

しょうたいさん しんげついん じんせん し びせい
天台宗僧侶 照諦山 心月院 尋清寺 住職 高橋美清さんの講演より

フリーアナウンサーとして活躍していた美清さんは、ある事件をきっかけにインターネット上で大変な誹謗中傷を受けます。「ネット上の誹謗中傷は、人の人生を破壊します。私は精神的な殺人だと思っています。」自らの体験をもとにSNSの危険性についてご講演をしていただきました。



参加者の感想より

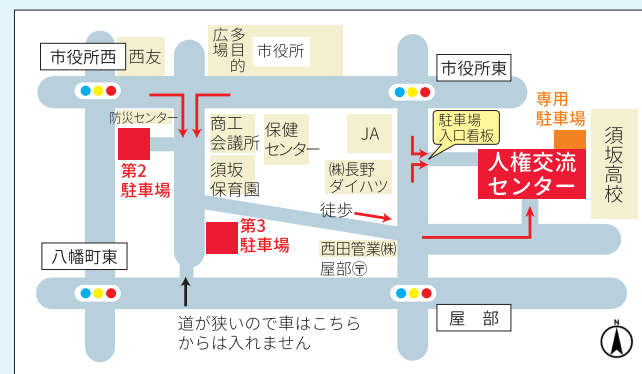
- 〇とてもいいお話でした。私もそう思います。少しでもマイナスな事を書かなければいいと思います。こんなことで心が痛むことがない世の中になってほしいです。「一隅を照らす」素敵な言葉ですね。
- 〇美清さんの講演では、当時のつらい体験を話していただき、自分ではとても想像できないほどの体験をされてきたと感じました。これからも悪意のある書き込み、間違った正義を振りかざされて悩んでいる人を助けてほしいと思います。応援しています。
- 〇SNS等のコメントを入れるのは止めようと思いました。「利他の心を大切に」が心に残りました。
- 〇とても聞きやすい声で優しい話し方で安心して講演を聴くことができました。人の気持ちは同じ経験をした人しか分からないと言われますが、高橋住職の話は重みがあり、心に響きました。お話が聴けて良かったです。
- 〇SNSによる誹謗中傷の恐ろしさがよく分かりました。自分がもしかすると加害者・被害者になってしまう怖さを想像することが大切だと思いました。
- 〇人は苦しいことがあるとそこから逃げたり、諦めたりしますが、今日の講演を聞いて諦めないことの大切さを知りました。生きる力をもらったように思います。
- 〇優しい語り口でとても良い講演でした。SNSで人を傷つけない五か条を守りたいと思います。ありがとうございます。
- 〇美清さんの講演では、当時のつらい体験を話していただき、自分ではとても想像できないほどの体験をされてきたと感じました。これからも悪意のある書き込みや間違った正義を振りかざす投稿に悩んでいる人を助けてほしいと思います。応援しています。

人権交流センターでの相談、 施設の利用について

<問い合わせ・相談> 9:00～17:00
<土・日・祝日は休館、貸館の利用は可>
電話 (026)245-0909

- 相談コーナー、大小研修室、料理実習室
- 図書閲覧、DVD・人権パネル・図書類等の貸出可

※エレベーターはありません



保存版

人権教育啓発資料

人間を大切にする 明るい社会をめざして



須坂小学校 4年 藤沢菜瑠さん

日滝小学校PTA 北沢由貴さん

相森中学校1年 金箱芽生さん

2024年度 小・中学生、一般応募作品最優秀賞の標語・ポスターです（文中のポスターは優秀作品です）

インターネットが普及し、生活スタイルが大きく変わり、インターネット・SNSは世界中のだれとでも簡単につながることができる便利なツールです。しかし、24時間どこへでもつながるため、使い過ぎて生活リズムが乱れる心配もあります。また、LINEの既読無視がいじめにつながったり、言葉だけのやり取りは送る側と受け取る側の認識のズレを生じさせ、誤解により人間関係が悪化することもあります。特に最近は、言論の自由や表現の自由という理由でインターネットの特性を悪用した部落差別やヘイトスピーチが拡散されるなど、人権侵害が深刻化しています。

市民の皆様におかれましては、インターネットに対する正しい理解や認識に基づいた行動により、SNS等の問題を自らの課題として、引き続き、共に取り組んでいただきますようお願いいたします。

須坂市・須坂市教育委員会
須坂市人権のまちづくり推進会議
須坂市企業人権教育推進会議



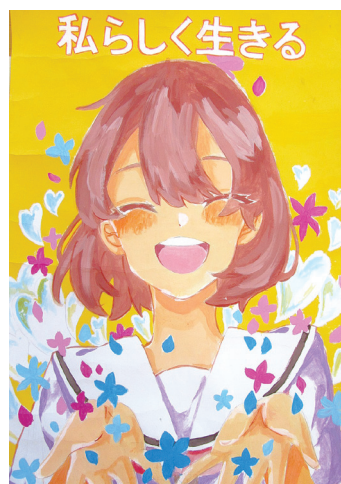
インターネット・SNSここが心配

インターネットは知りたい情報をすぐに見つけることができ大変便利ですが、使い方を間違えるとデジタルタトゥーが残ってしまったりSNSに起因する犯罪に巻き込まれたりする可能性があります。

近年、いつでもどこでもインターネットに接続できるスマホの普及とともに様々な問題が拡大してきました。特にSNS（ソーシャルネットワークサービス）では、簡単に情報を共有できるがゆえに、容易にプライベートに直結する情報も発信できてしまいます。SNSで発信された情報を悪意のある第三者が不正に利用し、犯罪につながるケースや誹謗中傷につながるケースも出てきています。また、肌身離さず持ち歩けるスマホの普及によりSNSの利用時間の増加が若い世代を中心に増えています。総務省が2020年に実施した調査によると、SNSの利用時間は2012年から2018年までの7年間で4倍に増加しています。それに伴って「違法・有害情報相談センター」（文末に記述あり）への相談件数も高まるばかりです。

1 インターネットの匿名性

インターネットやSNSの特性として、相手の顔が見えないことが挙げられます。このため、SNSでは偽アカウントや架空アカウントを作成して個人情報を詐取しようとしたり、見ず知らずの相手を誹謗中傷したりすることがあります。また最近問題になっている「闇バイト」の勧誘も、顔の見えないSNSだからこそ実行が可能なのです。特に、10代後半の若者は大半がSNSを利用しているだけに、誹謗中傷の被害者になりやすく、SNSで誹謗中傷されることは、「みんなに見られる場所で自分を否定された」という深刻なダメージを受けるケースが増えています。



東中学校1年 駒津早映さん

2 デジタルタトゥー（インターネットの情報は簡単に消せない）

現実の世界では、よっぽどの理由がない限りは目の前の誰かを誹謗中傷することはないでしょうが、SNSは匿名性が高いことにより、誹謗中傷が発生しやすく、根拠のない悪口を投稿して炎上する例は多々あります。誹謗中傷やデマの情報は相手を傷付けるだけでなく、場合によっては投稿者が訴えられることもあります。投稿を削除しても誰かがスクリーンショットを撮っていれば別のところで拡散され、ネガティブな内容の書き込み・コメントがデジタルタトゥーとして残り続けます。「皆が言っているから本当だろう」、自分の正義感から「悪い奴は叩いてもいいだろう」という流れが起きやすいのです。

近年、飲食店の従業員やアルバイトによる不適切な行為を撮影した動画がSNSで投稿されて炎上するという「バイトテロ」が頻繁に起こっています。ただのいたずら程度で行ったことでも、一度拡散されてしまうと一生ネット上に残り続けることになります。

リベンジポルノにも注意が必要です。リベンジポルノとは、元交際相手や結婚相手によって

スマホや小型カメラで撮影された性的な画像や動画がネット上にアップロードされ、公開されてしまうことです。SNSやネット上で一度情報が拡散されてしまうと自力では消すことができません。拡散から個人情報が特定され、就職や結婚等の際にもデジタルタトゥーとして、一生ついて回ることもあるのです。

3 個人情報の管理は大切

SNSは気軽に発信したりコミュニケーションを取ったりできるなど便利なツールですが、気軽に情報発信できるからといって、積極的に情報公開することは控えたほうがよいでしょう。実際、インターネットにアップした情報が原因でストーカー被害に遭うような事件も起こっています。住所が特定されてネット上に拡散されてしまい、最悪の場合引っ越しを余儀なくされるケースもあります。自分の身を守るためにも、情報公開時には、その情報で個人、あるいは関係する人が特定されないか、あるいは過去の投稿と紐づけされた場合に特定される可能性はないか、慎重に判断する姿勢が重要です。インターネットやSNSの利用者は善人ばかりではありません。このような情報から個人が特定され、犯罪に巻き込まれる可能性が高くなります。自分のことはもちろんですが、他の人の公表されていない情報も載せることは絶対にやめましょう。

次にSNS利用者として気をつけたいのが、アカウント管理の徹底です。個人情報の宝庫となるSNSアカウントは利用者が責任をもって管理する必要があります。同じパスワードを使いまわす事は大変危険です。パスワードを他人に知られたためにアカウントを乗っ取られ、身に覚えのない買い物や他人への誹謗中傷をした者として非難を受ける場合も考えられます。またスマホ決済（スマートホンに財布代わりに使う）を利用している場合は、パスワードは銀行印と同じ効力を持ちますので、しっかり管理することが大切です。

4 情報の正誤を見抜く力をつける

今後もインターネットは生活の中に広く浸透していくことは間違いありません。様々な場面でSNSやYouTubeを利用した宣伝や情報発信が拡大し、正しい情報と誤情報の境界線もわかりづらくなってきています。また、既存のマスメディアの情報よりもネットの情報を信用する人も増加しています。そのためインターネットやSNSの特性や危険性を正しく理解した上で、上手に使うことが求められます。

SNSによる誹謗中傷に関する相談窓口

SNSによる誹謗中傷被害が増加傾向にある昨今、国やサポート団体などによる相談窓口が多く設置されています。悩みや不安を抱えて困っている方が、より気軽に相談できる窓口です。電話やメール、チャット、SNSなど様々な方法で相談することができます。

※相談窓口

違法・有害情報相談センター（総務省）

検索 違法有害情報

まもろうよ ところ（厚生労働省）

検索 まもろうよところ



日野小学校6年 中村樹梨さん